

第23回IPアドレス管理指定事業者連絡会

IPv4アドレス在庫枯渇対応
に関する状況のご報告

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 サトウススム



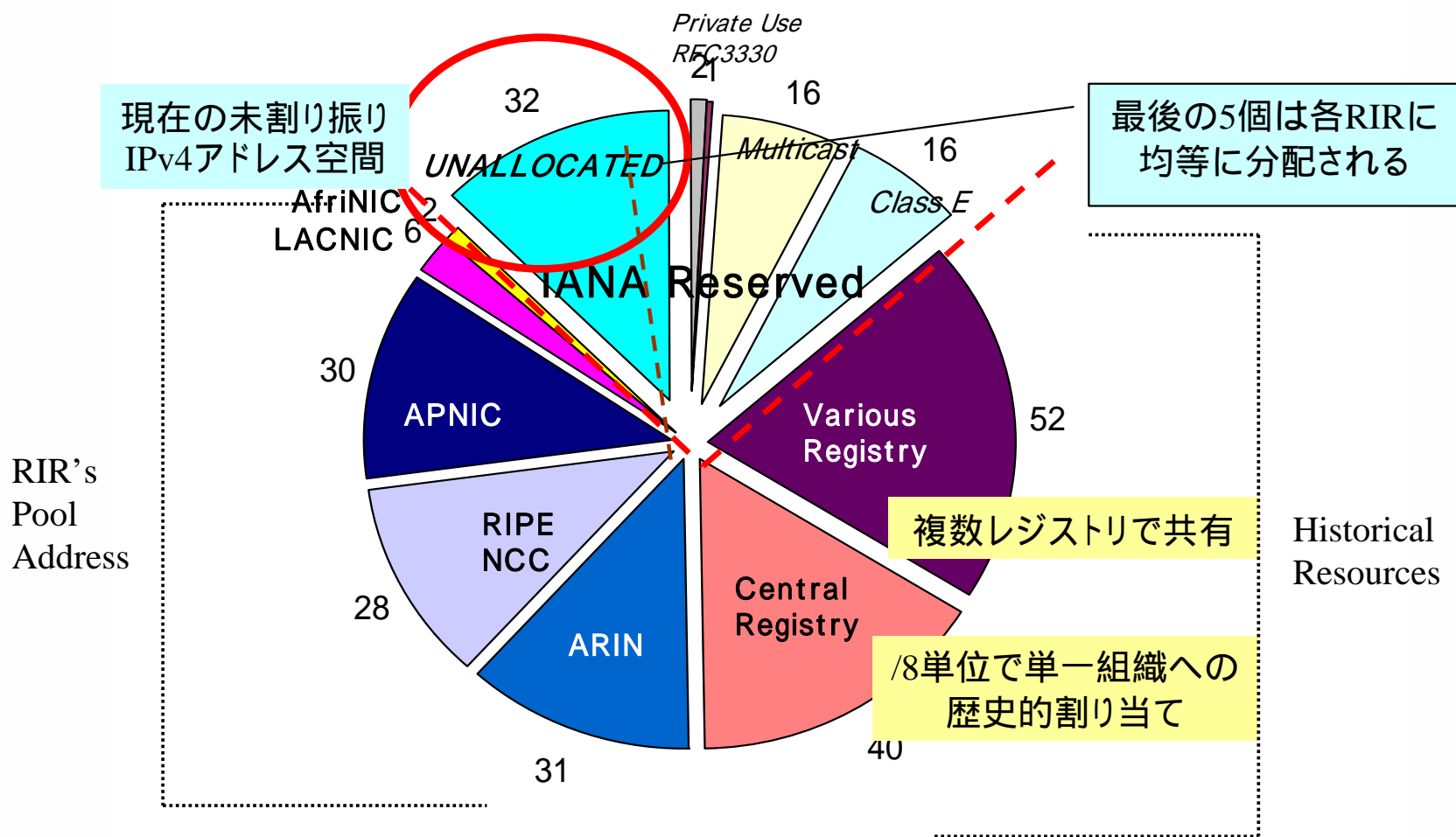
社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

本日のご報告内容

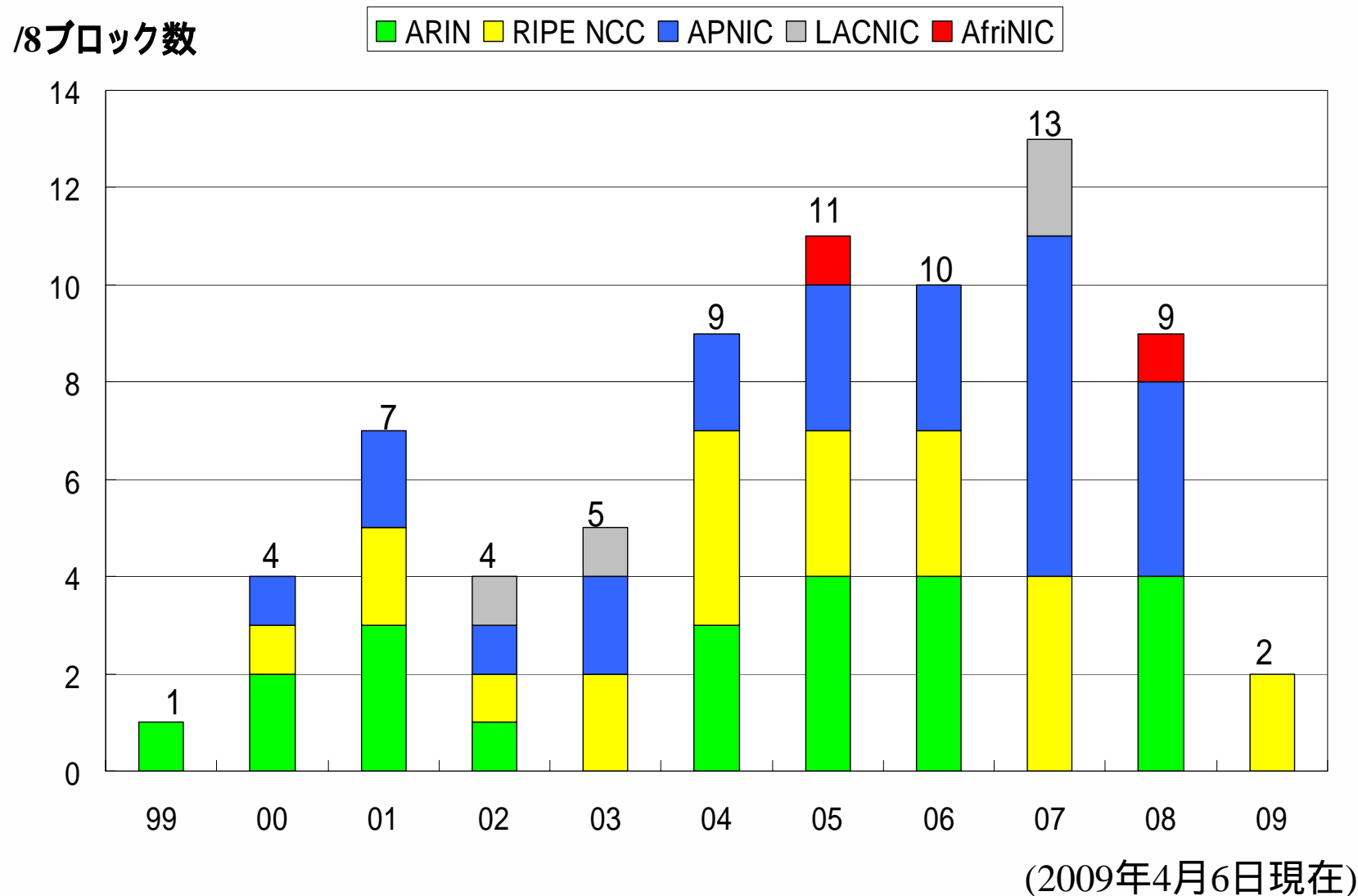
- 最新のIPv4アドレス在庫状況
- IPv4アドレス枯渇対応TFの活動状況
- アンケート結果

最新のIPv4アドレス在庫状況

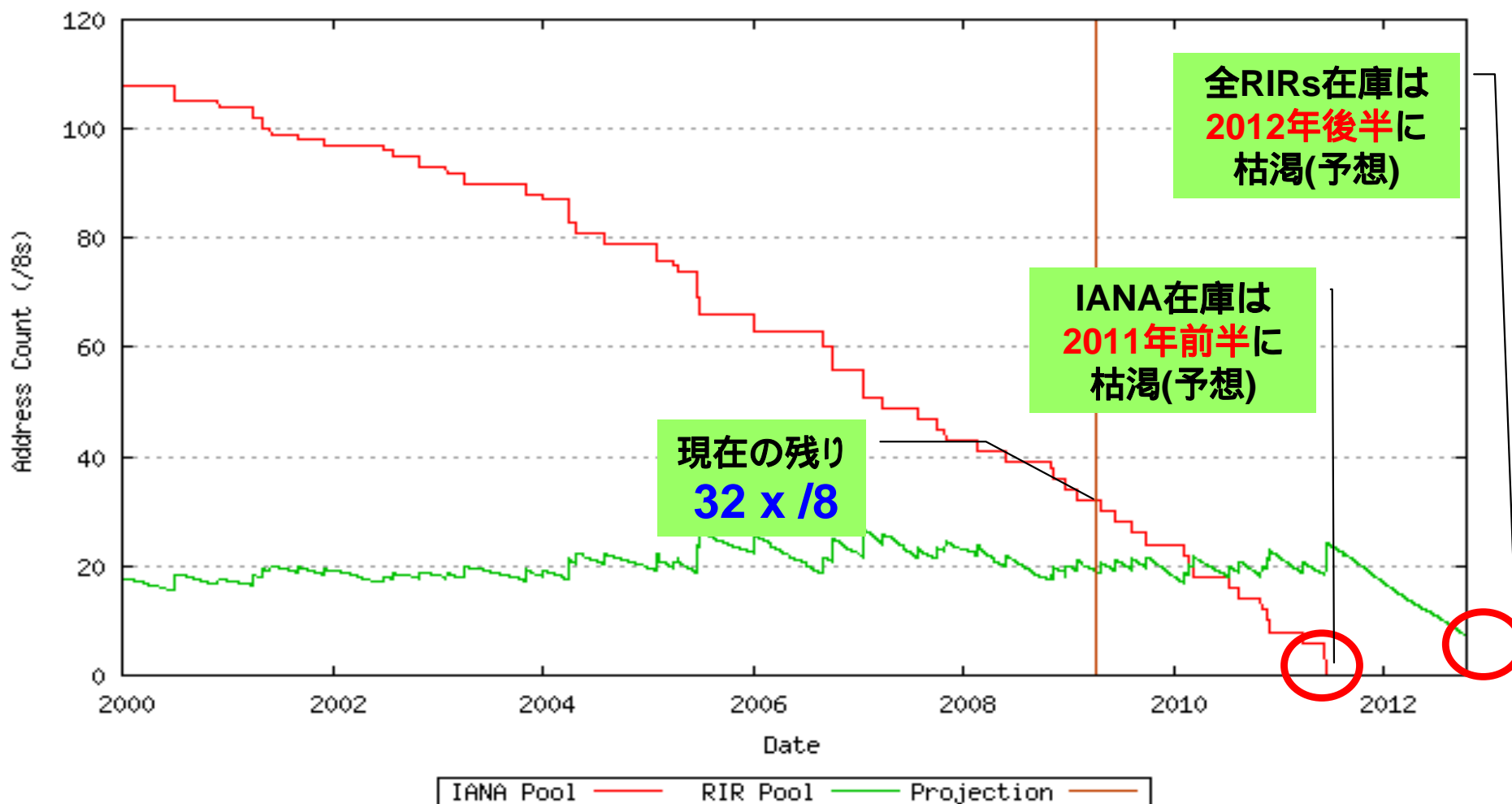
IPv4アドレス空間・現在の利用状況



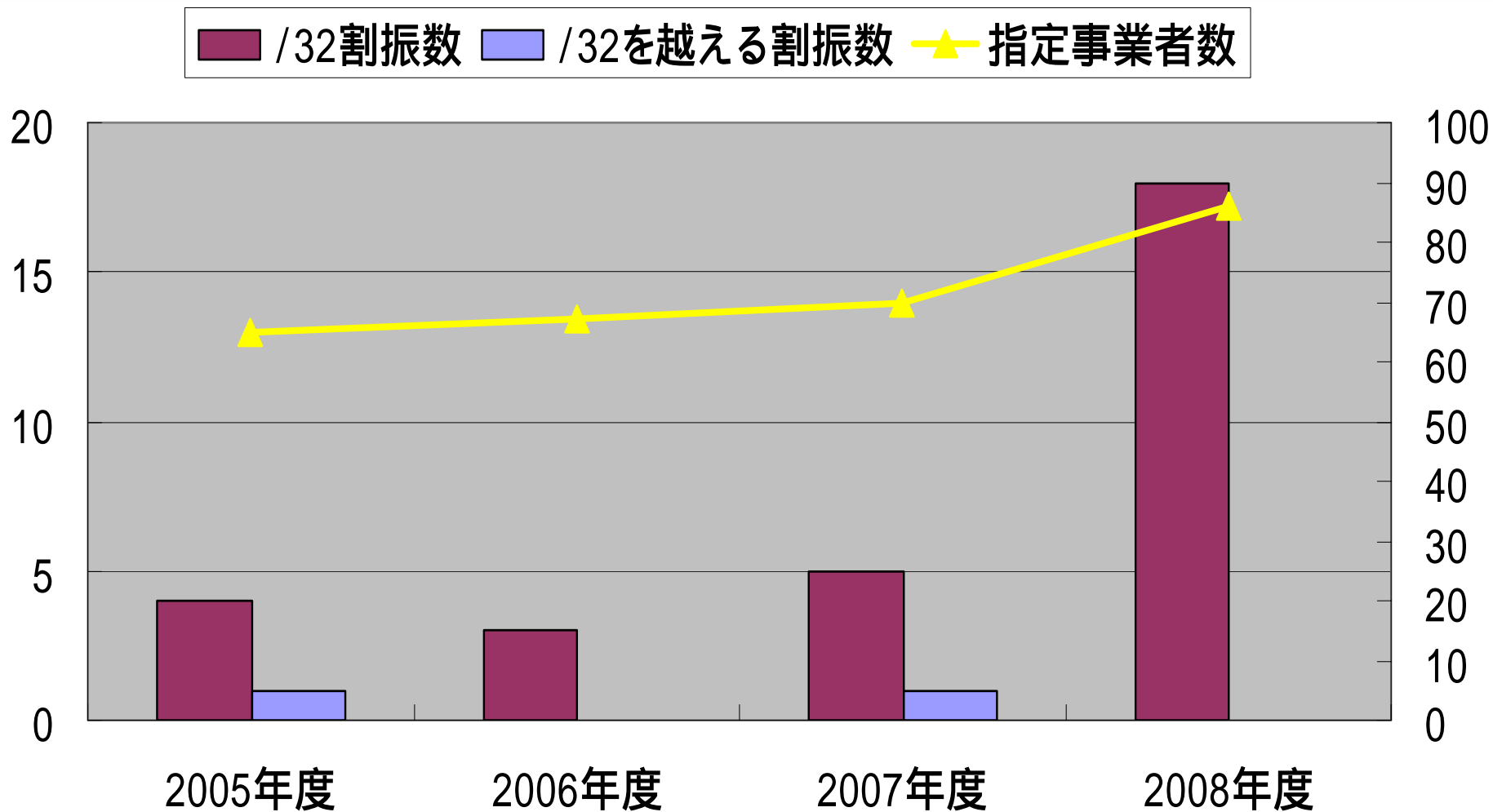
IANAからRIRsへの/8ブロックの分配状況



IPv4アドレス在庫枯渇の現状



JPNICにおける IPv6アドレス割り振り推移



IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースの 活動状況

IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースとは

来るべきIPv4アドレス枯渇を、より円滑乗り越えるべく、取り組み課題を、**< 課題検討 (技術、運用、経営) >**、**< 広報啓発 >**、**< 人材育成 >**、**< 進捗管理 >**の観点から整理し、官民一体となった我が国全体のアクションプラン推進体制を構築する



- IPv6普及・高度化推進協議会 (v6pc)
 - 財団法人インターネット協会 (IAJapan)
 - 次世代IX研究会 (distix)
 - 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)
 - 社団法人テレコムサービス協会 (TELESA)
 - 社団法人電気通信事業者協会 (TCA)
 - 財団法人電気通信端末機器審査協会 (JATE)
 - 社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)
 - 社団法人日本ケーブルテレビ連盟 (JCTA)
 - 財団法人日本データ通信協会 (JADAC)
 - 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)
 - 日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ (JANOG)
 - 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
 - 日本UNIXユーザ会 (jus)
 - 株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
 - WIDEプロジェクト (WIDE)
 - 総務省 (MIC)
- 計: 17団体



<http://www.kokatsu.jp/>

WGの紹介と検討状況

WG	活動内容	これまでの成果
広報	広報戦略策定・実行 イベント等連携支援	Webサイトの作成 団体横断アンケート実施
教育・テストベッド	テストベッド要望取りまとめ 教育プログラム作成	ハンズオンセミナー(IWなど) テストベッド構築準備開始
アクションプラン	ISP/iDCのアクションプラン立案 支援	事業者種別毎のアクション プラン雛形作成、公表
アプリケーション	ネットアプリへの影響度調査 Slerへの啓発	言語系コミュニティ調査、シ ステム/ソリューションベン ダーへのヒアリング等
アクセス網	アクセス網の対応についての ISP間の情報交換	NTT東西を含めISPが参加 し技術情報の交換を開始
サービスロゴ	ウェブサイト及びISPサービス に対するIPv6対応ロゴ策定	IPv6 Ready Logo Program と連携し、ロゴと提供のガ イドライン作成

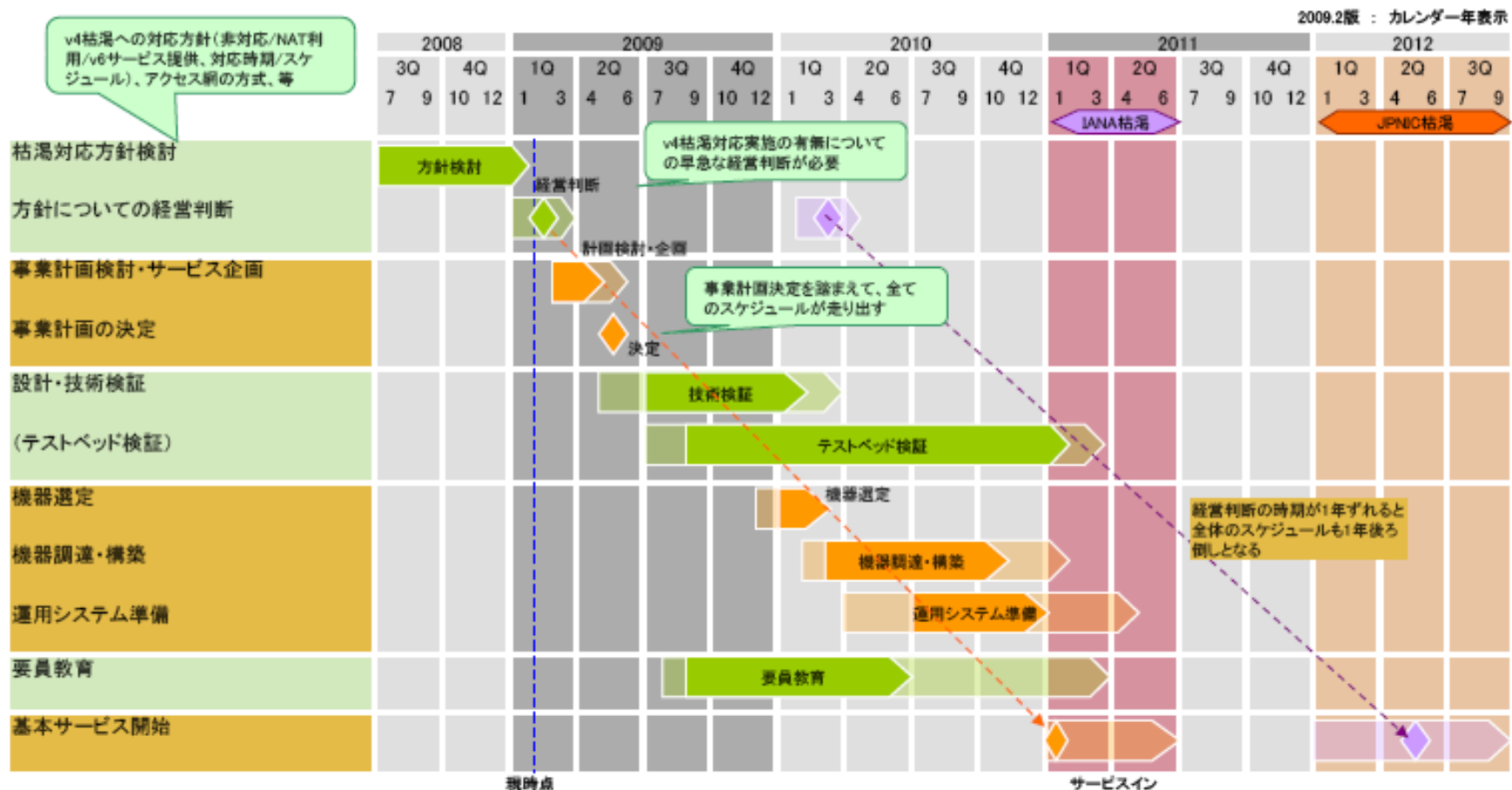
この他にIPv6協議会のWGの枠で家庭用IPv6ルータの標準仕様を検討・策定中

アクションプランの紹介



アクションプラン: ネットワーク関連

ネットワーク関連プレーヤーにおけるアクションプラン(基本形)



イベント・セミナー予定など

■IPv6 Summit 2009

- 日時:2009年5月27日(水)13:15～17:30
- 会場:慶應義塾日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール
- 参加費:無料

■Interop Tokyo 2009

- 日時:2009年6月8日(月)～12日(金)
- 会場:幕張メッセ/展示ホール
- IPv4アドレス枯渇対応TFとしてブース出展予定

■JANOG 24

- 日時:2009年7月9日(木)～10日
- 会場:株式会社日本経済新聞社 日経ホール(新社屋)

その他

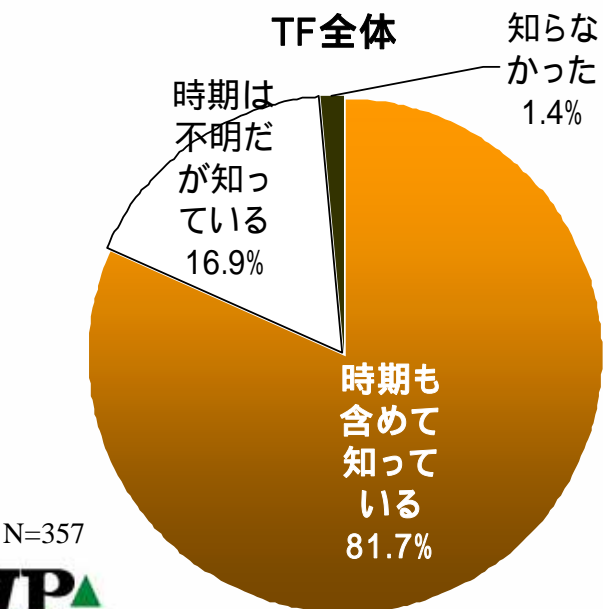
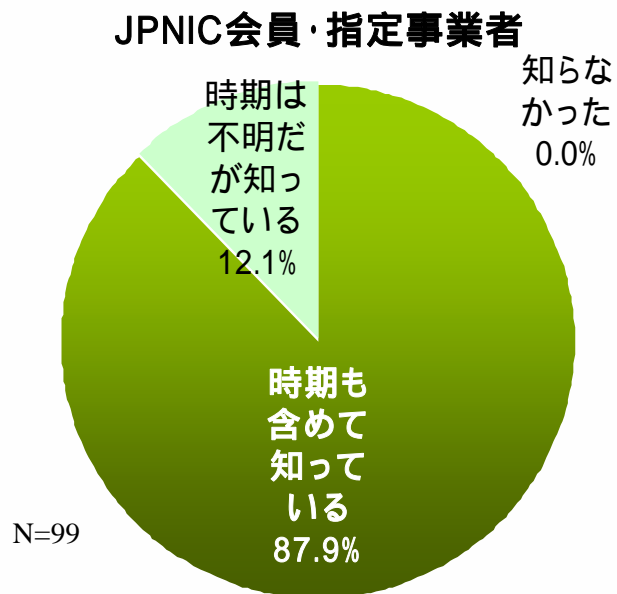
- 総務省による「IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会」
- 2009年2月27日に第1回会合を開催
- WGによる検討と本会合を経て、2009年12月までにとりまとめを行う予定

アンケート結果

アンケート目的と概要

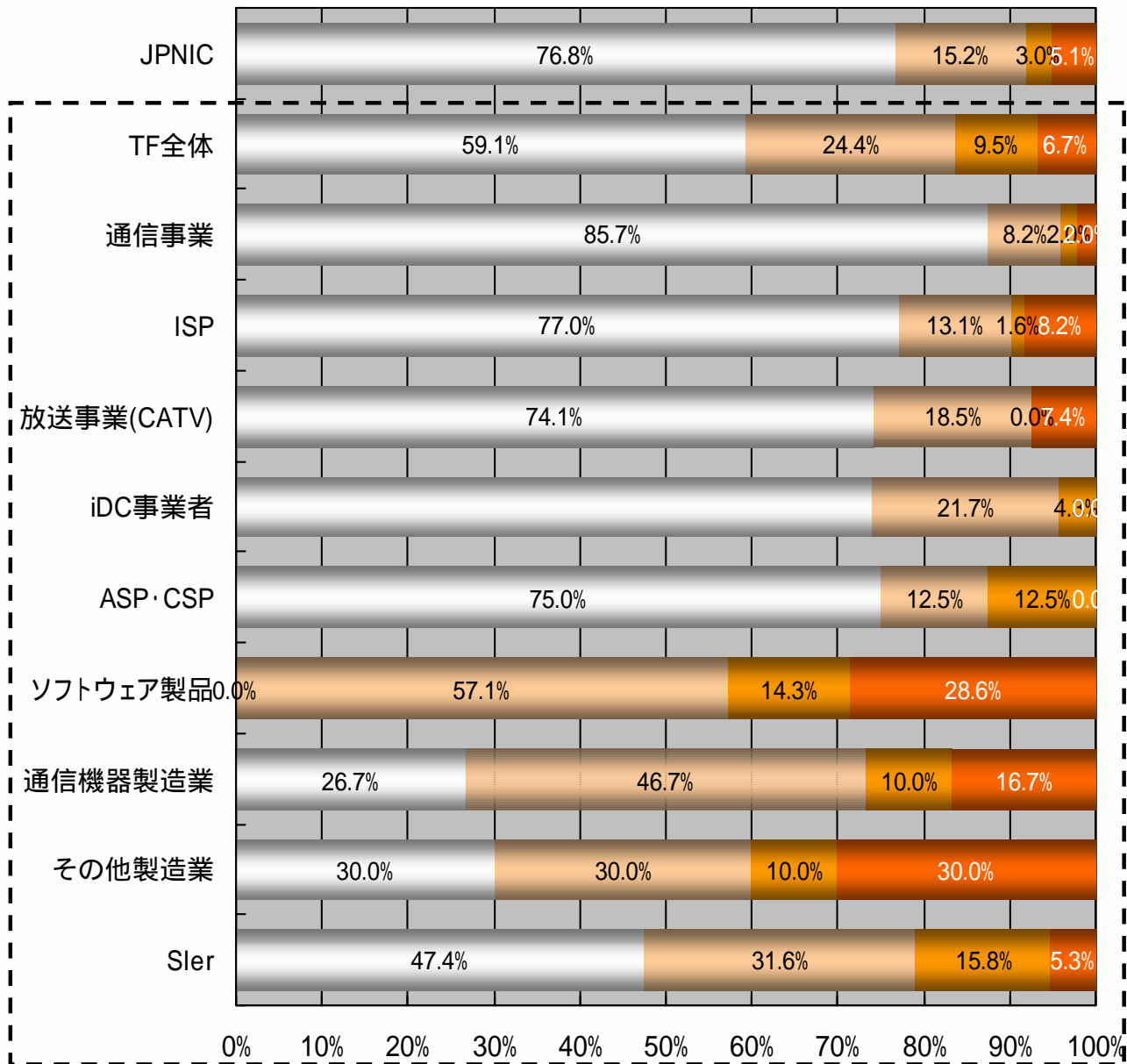
- TF各参加団体の所属組織における、枯渇に対する認知状況と対応・検討状況確認し、全体および団体毎の進捗を把握する
- 調査期間:2009年2月20日～3月6日
- 回答者数:99(TF全体:8組織実施 回答者数357)
- 集計サマリー
 - 枯渇の認知している事業者と事業に大きな影響があるとする事業者はそれぞれ8割近くいる(特にサービス事業者)
 - 一方、そのための対応策を実施している事業者は15%程度
 - 対応策としてほとんどの事業者がIPv6の導入を含んでいるが、その内まだ検討段階が6割
 - IPv6導入および対応策推進においてもコストが一番大きな課題として挙げられている
 - 枯渇対応にあたり求められる支援策は、セミナーなど技術者教育と技術情報の提供
 - 回答者は東京とそれ以外の地域がほぼ半々で、業種はiSP、iDCが大半
 - エンジニア系の現場担当者が半数以上

枯渇認知状況



影響の認識

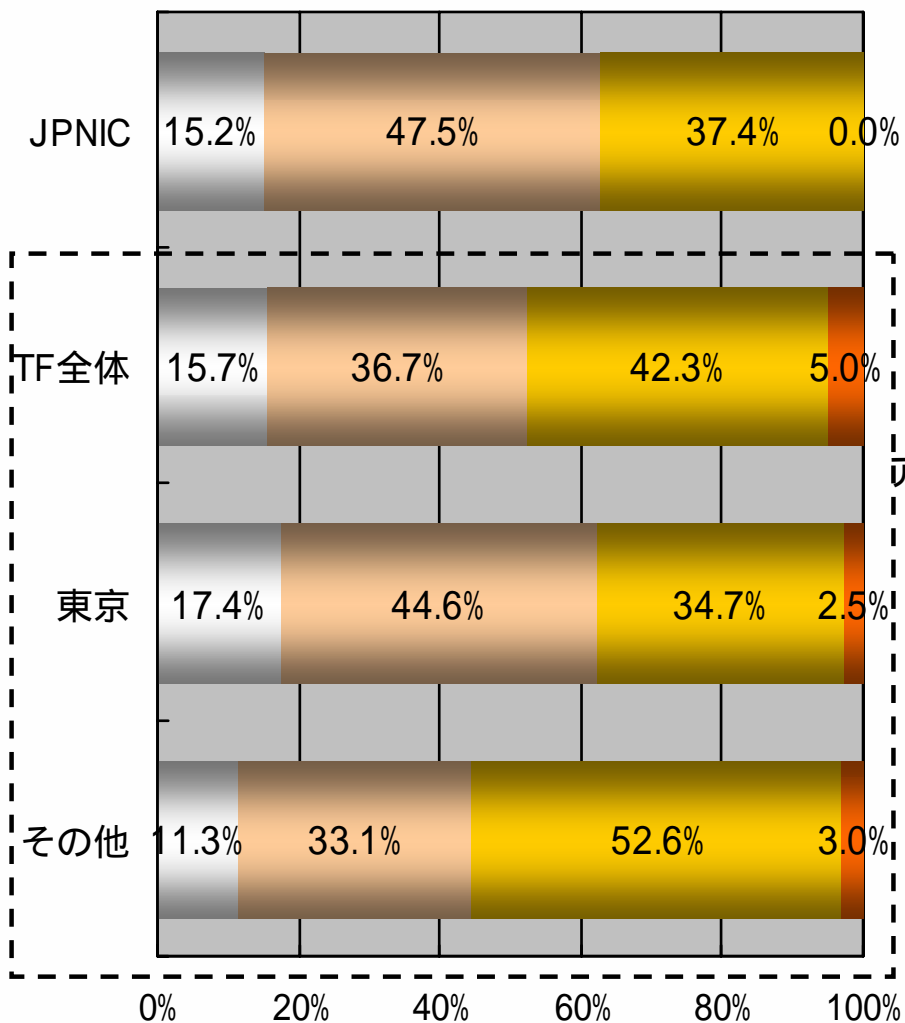
■ 大きな・影響がある ■ 軽微な・影響がある ■ 特に・影響はない ■ わからない



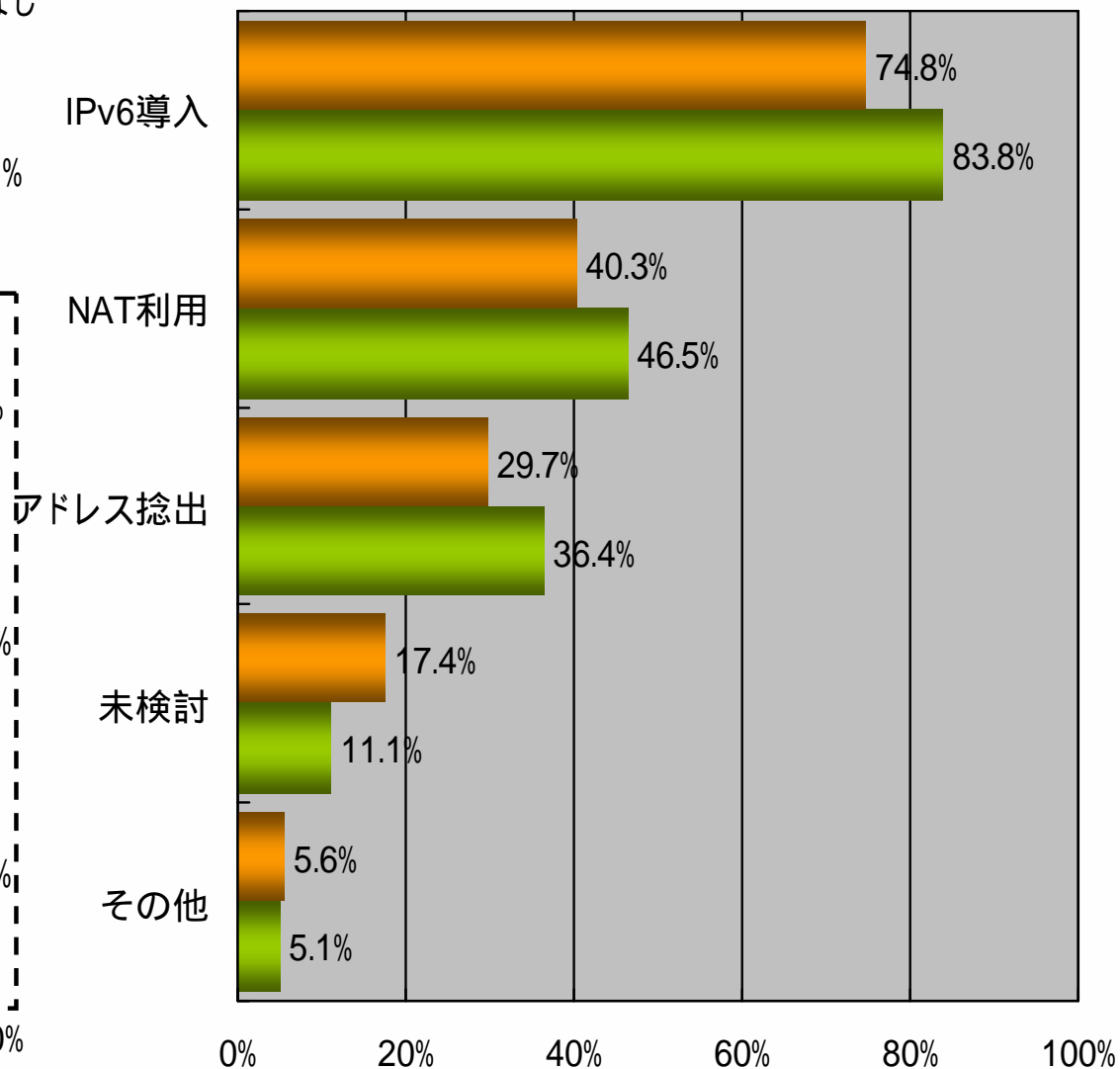
対応策実施検討状況

検討している対応策

■ 既に対応策実施 ■ 検討中 ■ 今後・検討 ■ 検討予定なし

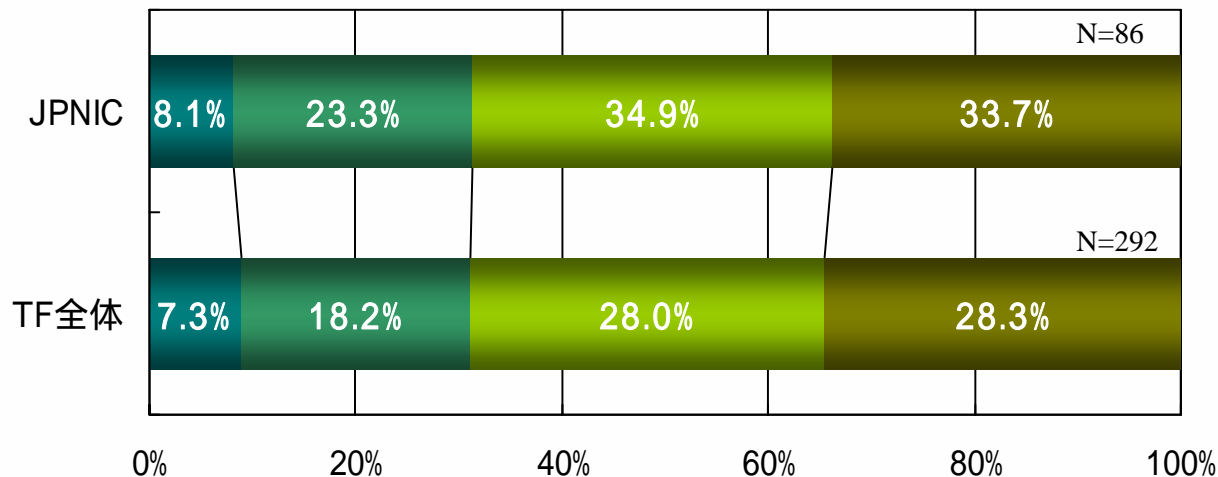


■ JPNIC ■ TF全体

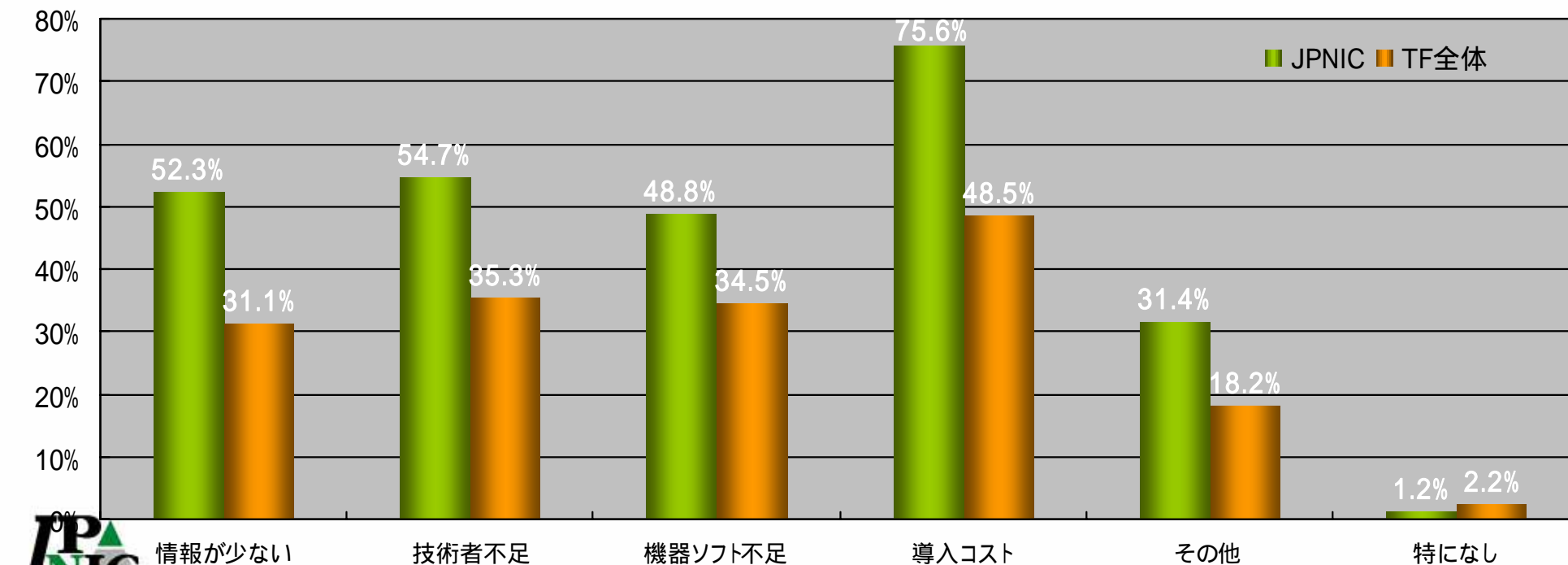


IPv6導入の状況

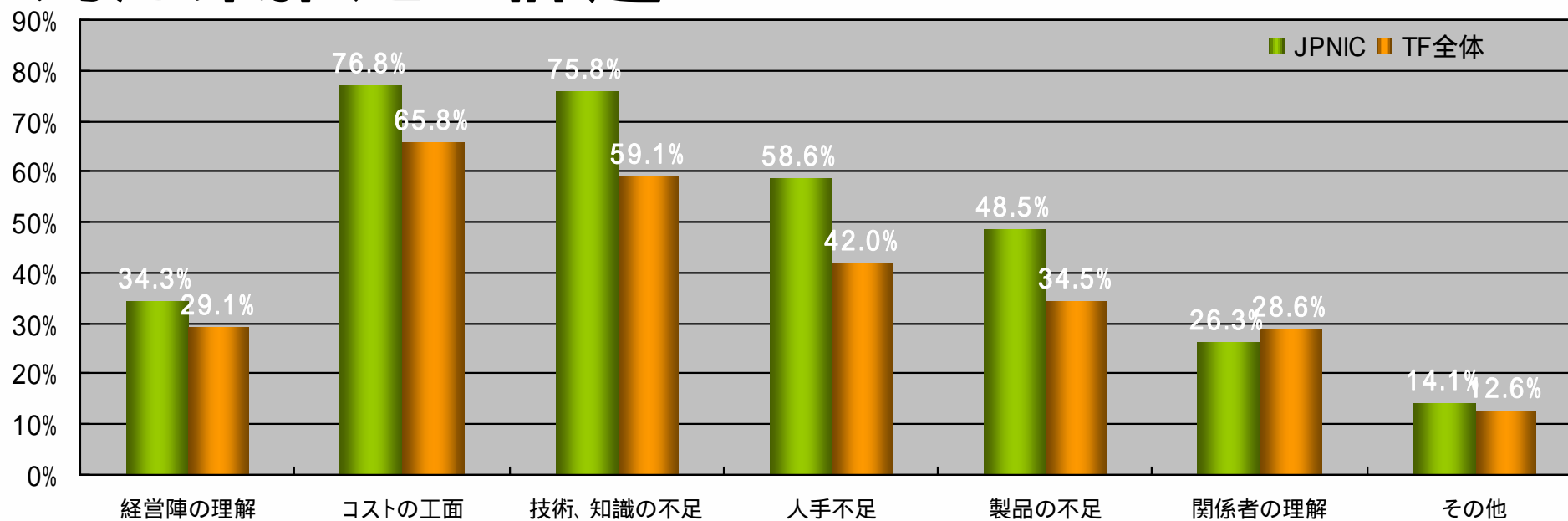
■ 既に導入済み ■ 試験運用開始 ■ 方法手順検討中 ■ これから検討



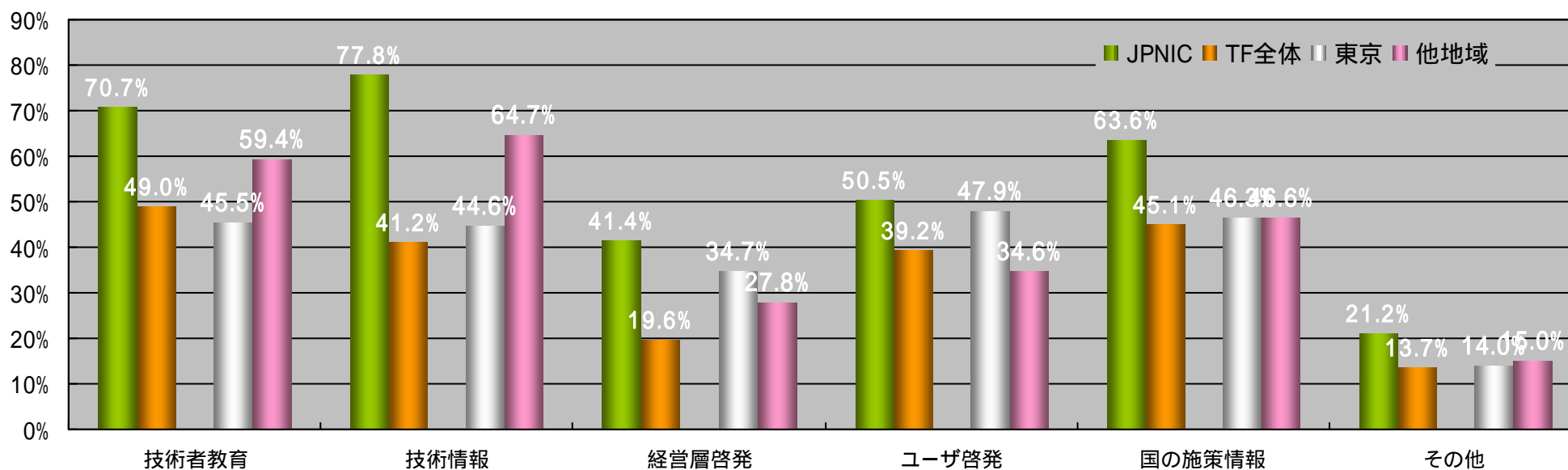
IPv6導入の課題



対応策推進の課題



欲しい支援策



回答者プロフィール

地域

東京	41.4%
その他の地域	58.6%

業種

通信事業	19.2%	官公庁/協会/団体	2.0%
ISP	34.3%	システムインテグレータ	3.0%
ASP・CSP	5.1%	放送事業(CATVを含む)	19.2%
iDC事業者	15.2%	その他	2.0%

職種

エンジニア系	73.7%	その他	26.3%
--------	-------	-----	-------

役職

管理職以上	44.4%	一般	54.5%
-------	-------	----	-------

